



マウス操作でかんたんデータ解析

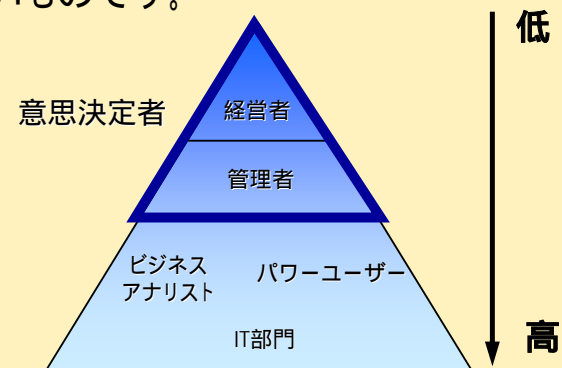
- SAS® Enterprise Guide® の概要紹介

Professional Service Department
Customer Services Division
SAS Institute Japan Ltd.

ビジネスアナリストにとっての課題

組織におけるビジネスアナリストの役割は、ある特定の問題点やトピックに対して、調査、分析し、意思決定者である経営者や管理者に対して報告することです。しかし、彼らに必要とされる情報リテラシーは非常に高いものです。

- 散在するデータ
 - 様々なサーバー(local & remote)
 - 様々なアーキテクチャー
- 複雑化するツール群
 - 分析のためにコーディング
 - レポートینگのために更にコーディング
- 分析結果の配信ニーズ
 - 必要としている人は何所にでも存在
 - ニーズは人によって様々



組織構造と必要とされる情報リテラシーの関係

SAS® Enterprise Guide®の目標

- データの保存場所やアーキテクチャを意識させない透過的なデータアクセス
- Windowsソフトウェアと同等の「Look&Feel」
- 分析結果を他のアプリケーションに出力
- 再利用を促進
- 自動化による効率化

既存のデータやITインフラを最大限活用し、一貫性のある迅速な意思決定と効率的な情報配信を実現

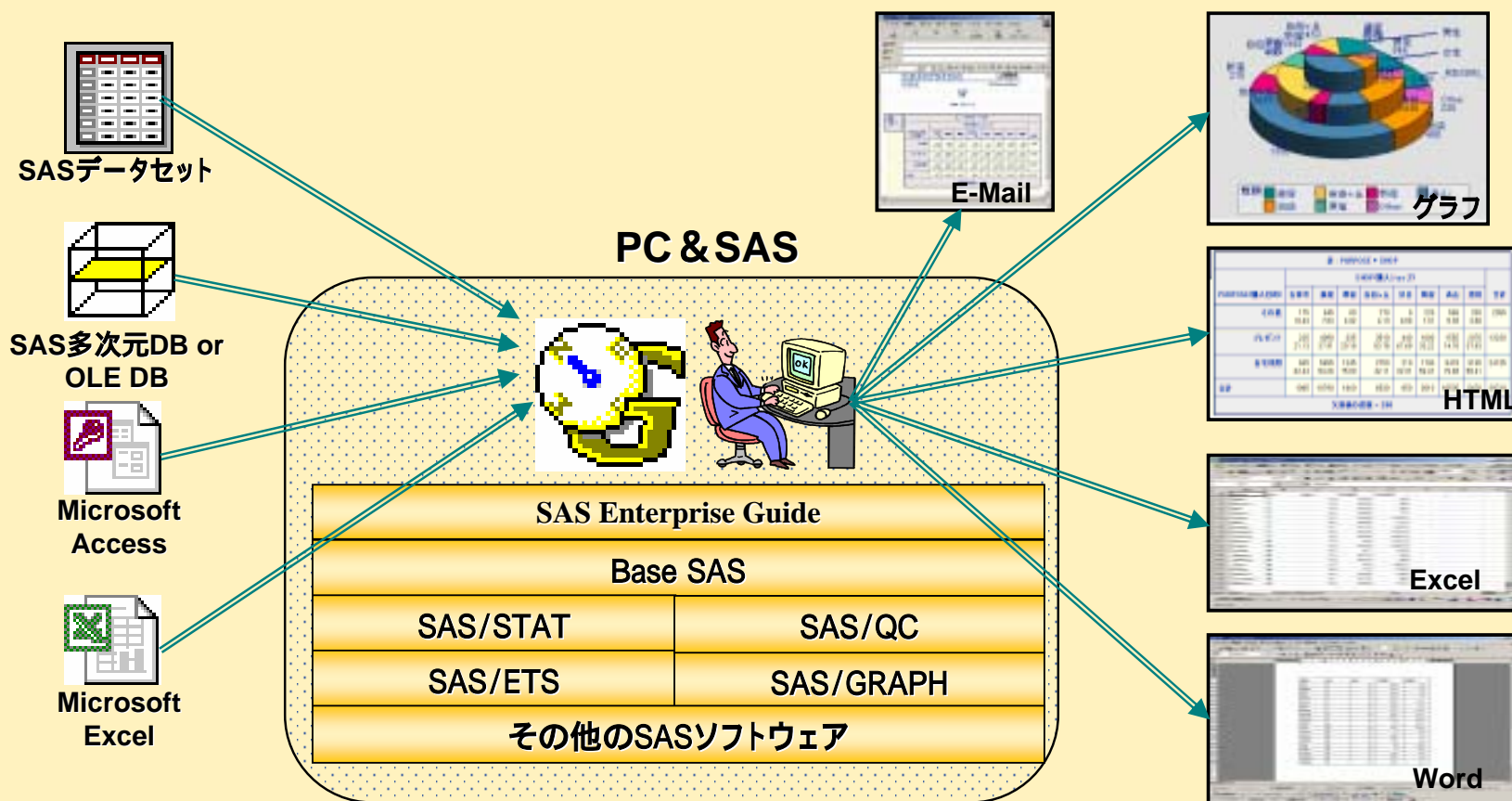


SAS[®] Enterprise Guide[®]の具体的な特徴

- マウスによる操作で以下のような作業が可能
 - クエリー作成、集計・要約など
 - グラフ作成
 - 統計解析(回帰分析、主成分分析など)
 - 時系列予測
 - 品質管理
- MS-Office等のデータに対して透過的にアクセス。
- SAS/ACCESSがあればその他のRDBMSなどに対しても透過的にアクセスが可能
- SASがインストールされていないマシンにSAS Enterprise Guideをインストールし、SASサーバーの機能を利用する事が可能。
(全てのデータ管理、解析処理をサーバー側で実行)

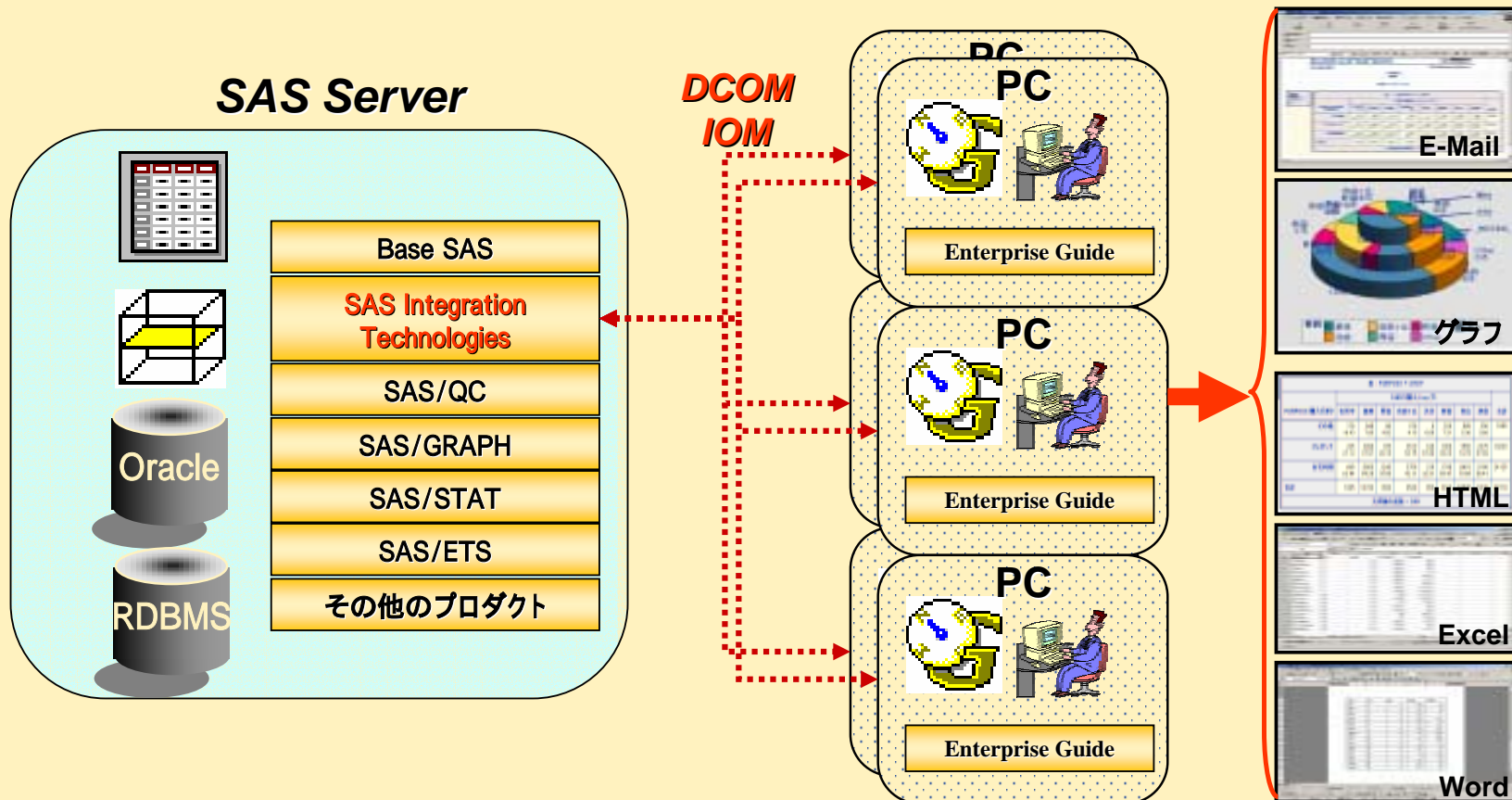
SAS® Enterprise Guide®のシステム構成1 (スタンドアローン型)

- クライアントに SASのシステムがインストールされている場合



SAS® Enterprise Guide®のシステム構成2 (クライアントサーバー 型)

- クライアントにSAS Enterprise Guideのみがインストールされている場合



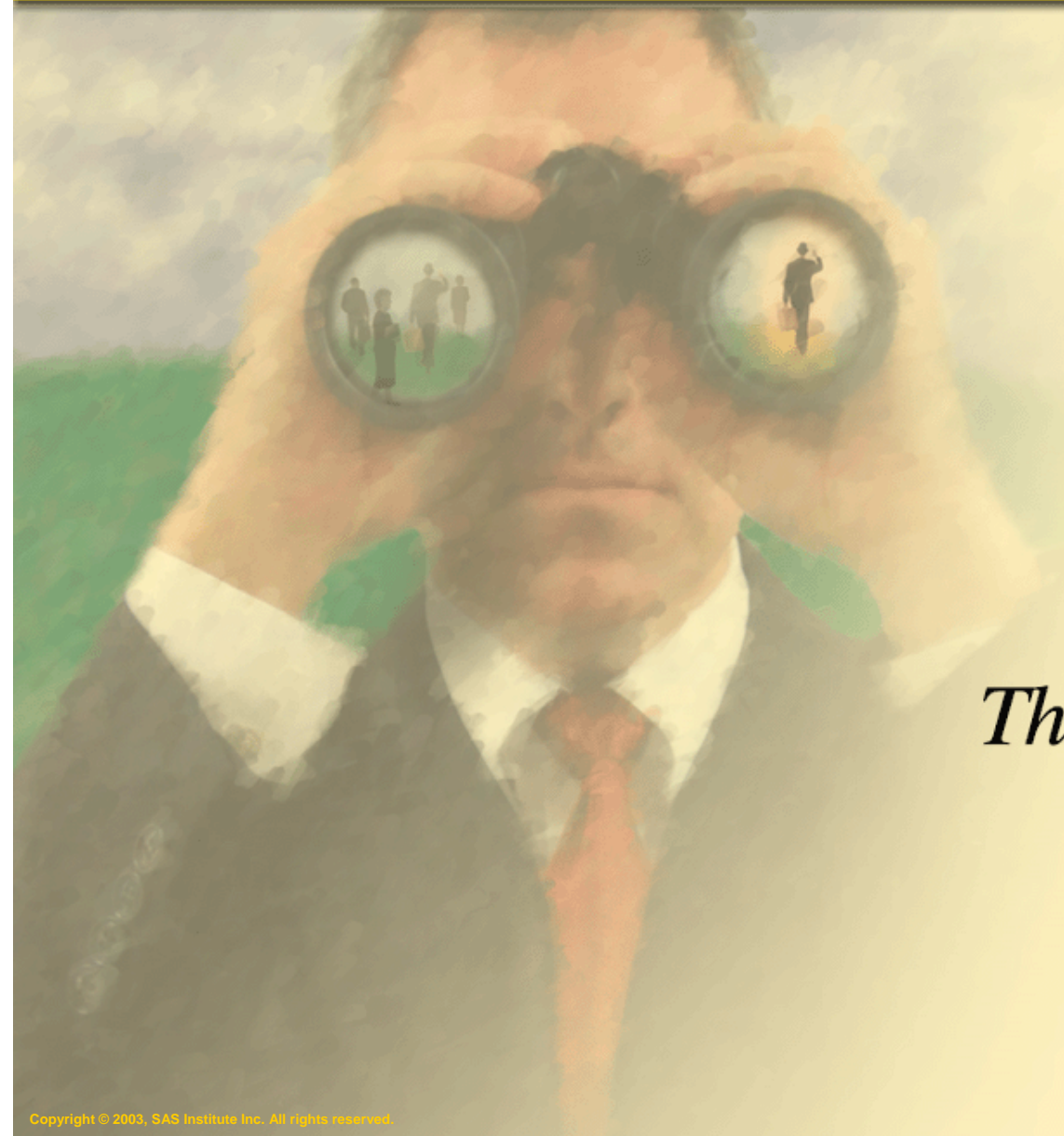
Demonstration



SAS® Enterprise Guide® 3.0 新機能

- プロセスフロービルダーによるプロジェクトの作成
- タスクUIの単純化
- アーキテクチャの変更
 - ・ タスクをSAS Enterprise Guideのフレームワークから独立させることで、他のアプリケーションへの統合が可能 (例: Microsoft OfficeにおけるSAS Add-in)
- ストアドプロセスの作成と利用
 - ・ ストアドプロセスとは、EGによって作成されたタスクコードや既存のSASコードをSASサーバーに保存したもの
 - SASコードの集中管理
 - パラメータ化によるコードの再利用性
 - 様々なクライアントから実行可能なSASプログラムの生成
 - 複雑なコードを簡単に使いやすいオブジェクトにカプセル化
 - セキュリティの向上

現在開発中のため、EG3.0で追加される機能は変更されることがあります。



The Power to Know®